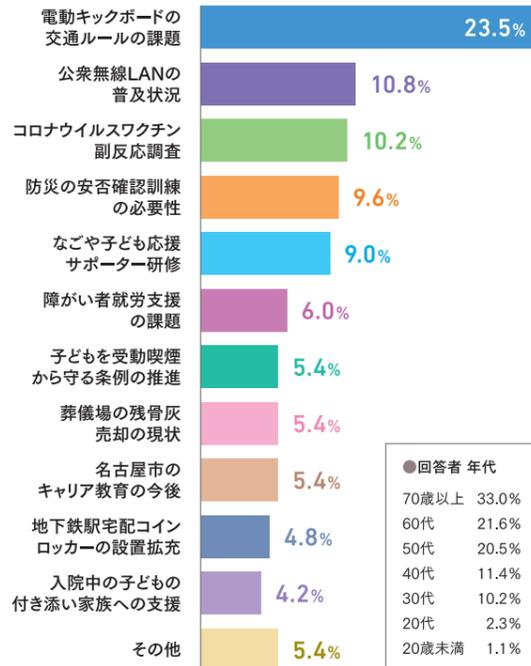


REPORT 1 | 減税日本ナゴヤ市議員と名古屋市民をつなぐ  
1分アンケートVOL.1 結果報告

令和5年市会本会議において減税日本ナゴヤ議員が質問した内容について、市民の皆さまにどの内容について興味があるかがありました。今後も随時、アンケート調査を実施し、市政に活かしてまいります。



自由記述で寄せられた声(一部抜粋)

市バス地下鉄全線の学生定期はあるのですが、地下鉄全線のみ学生定期がないので拡充してほしいです。(20代 男性)

税金や物価が上がりすぎて家計が苦しいです。少しでも減税してくれるとありがたいです。(30代 女性)

これからの子どもに対する支援を手厚くしてほしい。(40代 男性)

バラエティーあふれる就労の場ができるように、福祉事業所の開業支援などできるとよいと思います。(50代 女性)

キックボードは、必ずヘルメットをかぶってほしい。それと、歩道走行は、絶対やめてほしい。(60代 男性)

栄など、多くの人が訪れる場所の花壇を綺麗に手入れしてほしい。(70歳以上 女性)

REPORT 2 | 若者との意見交換会でパワーチャージ!

令和5年12月13日、減税日本ナゴヤ議員7名と名古屋市内の現役大学・高校生8名の意見交換会が実現しました。「市政とは何?」「名古屋の未来は?」などなど熱い対話の2時間でした。若い方々の真摯な疑問や意見に議員一同もパワーチャージ!最後に「僕たちの意見を聞いたからにはぜひ行動を!」との喝に、改めて議員としての責任を痛感いたしました。YouTubeチャンネルで当日の様子はご覧いただけます。ぜひチャンネル登録をお願いします。今後も定期的に皆さまとの意見交換の場を設けてまいります。



チャンネル登録をお願いします  
減税日本ナゴヤYouTubeはこちらから



ご意見をお聞かせください。

市政へのご要望、お困りごとなどなんでも結構です。

(FAX) 052-972-4570



会派の最新情報はこちら

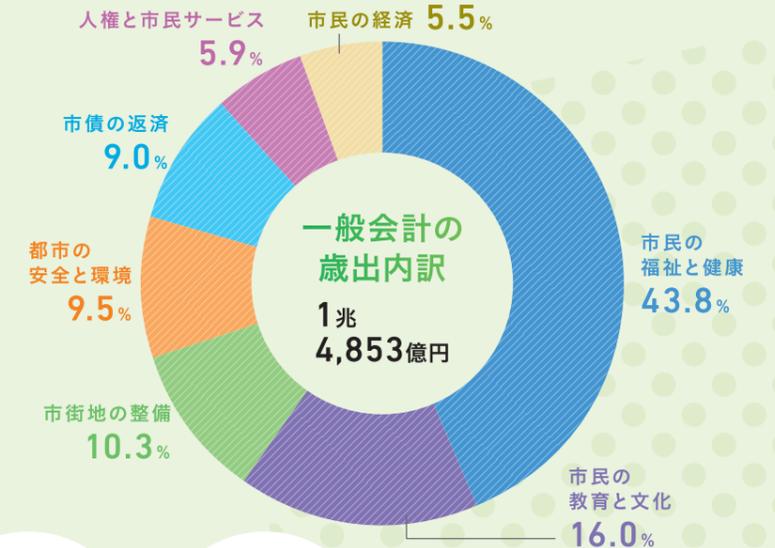
(減税ナゴヤ公式サイト)

<https://genzei758.com/>

# 減税日本ナゴヤ REPORT

令和6年度予算が過去最大で成立しました。テーマは「子どもの未来全力応援」。

河村たかし市長が「子どもを一人も死なせない予算」と語った通り、子どもの未来を守るための施策に重点が置かれた内容となっています。さまざまなライフステージで切れ目のない支援をめざしています。



子どもの未来  
全力応援

7つの柱

- 1 出会いや結婚の希望をかなえる支援
- 2 多子(第2子以降)世帯支援
- 3 教育費の負担軽減
- 4 なごや子ども住まいるプロジェクトの推進
- 5 産前産後のコネクトサポート
- 6 キャリア教育パッケージ
- 7 意識啓発・社会環境づくり

PICK UP!!

令和6年度 減税日本ナゴヤから市政への要望

交通	「名古屋市エスカレーター の安全な利用の促進に関 する条例」への理解促進	福祉	地域療育センターの 地域支援・調整部門 設置	環境	来園者の声を反映した農 業センターの魅力づくり
環境	ポイ捨てゼロの早期実現	教育	中学校部活動モデル 事業への周知	交通	市バス・地下鉄の広告媒 体収入確保の新たな策
財政	宝くじの積極的な販促	経済	AIを活用したワーク ショップでの次世代 人材育成	地域	高齢化する市営住宅のコ ミュニティ活性化事業の 実現
健康	新型コロナワクチン副反応 窓口の継続	防災	水道基幹施設の耐震 化施策の迅速化	防災	防災を担う次世代育成プ ログラム開発と継続運営

# 河村市長の提案を受け、 代表質問が行われました。

令和6年度予算についての「市長提案理由説明」より



- この度の震災(令和6年能登半島地震)を受け、本市の防災対策を検証・見直しする作業が必要であるとの思いを強くした。
- 「名古屋であれば自分のやりたいことを発見し、実現できる」と子どもたちに感じてもらえるよう、「一人の子どもも死なせないマチ ナゴヤ」の実現をめざす。
- (教員団体からの金品の授受等について)皆さまの疑念に答えられるよう、私もしっかり調査検証に目を光らせていく。
- 「名古屋らしさで世界を魅了する、何度でも訪れたくなるまちづくり」として、国際観光MICE都市実現のため、名古屋城において来場者向けの観覧環境の整備などを予定。
- 5月14日を「なごや平和の日」と定め、名古屋空襲による犠牲者の追悼や平和の啓発・継承事業を予定。

豊田かおる 代表質問

## 1 地域防災力の向上に向けた 防災意識のさらなる醸成について

**質問** 避難所運営訓練や宿泊型避難訓練など実践型訓練を全学区で実施するとともに、子どもから高齢者まで幅広く住民が参加してもらえるよう地域防災力の向上を図るべきだと考える。現状はどのようなものか。

**答弁** 実践型の訓練や地域防災活動の参加促進のためノベルティグッズ配付、防災講演会開催など実施している。さらに未来を担う子どもたちを対象とした「なごやこ防災レンジャー」の認定を令和5年度より実施している。

## 2-1 小学校からのキャリア教育について

**質問** 小学校においてキャリアタイム、キャリアナビゲーターは具体的にどのような取り組み、支援を行うのか。小学校から保護者とキャリアナビゲーターの意見交換会を継続して開催してはどうか。

**答弁** キャリアナビゲーターも小学校への派遣を進め、おしらせ発行やセミナー開催、授業公開などで保護者との理解促進をはかりたい。小・中・高につながる系統的なキャリア教育の充実に努めていく。



代表質問の様子はこちら

## 2-2 スクリーニングを通じた教育と福祉の連携について

**質問** スクリーニングは多くの専門職員が携わり学校支援の効果が高いとみえるが、職員同士の連携についての課題と今後についてどのように考えているか。

**答弁** 合同研修で情報や役割の相互理解を図り、生きづらさや不安・悩みを抱える子どもたちのさらなる早期発見及び適切な支援につながるスクリーニングの実施に取り組みたい。

## 3 教育委員会における金品授受について

**質問** 市内16行政区の校長会や、教員による任意団体から教頭、教務主任の推薦者名簿とともに現金等を教育委員会が受け取っていた件。市民の声を踏まえ信頼回復に向けた市長のお考えをお聞きたい。

**答弁** 第三者による調査検証チームを設置し、徹底的な事実関係の解明を望む。渡した側、受け取った側双方の事実を明らかにしていくことが非常に重要だ。再発防止に取り組み、教育委員会と共に市民の信頼回復に努める。

## 4 名古屋城の来場者数増加にむけた取り組みについて

**質問** 令和5年度の名古屋城入場者数はコロナ禍前を上回る見通しと聞いた。令和6年度は訪日観光客がさらに増加すると思われるが、名古屋城ではインバウンドに向けてはどのような取り組みを考えているのか。

**答弁** 看板の改修に合わせてICTを利用した多言語解説機能を付加する取り組みを進めている。今後も訪日來場者が名古屋城に何を期待しているのかを把握し、そのニーズにしっかり応えていきたい。

## 5 「なごや平和の日」に 平和の意識醸成に向けた取り組みについて

**質問** 「なごや平和の日」制定を機に悲惨な体験や記憶を語り継ぐと共に、戦後の復興に向けた体験や記憶を知る場となる遺構を後世に引き継ぐ取り組みができないか。

**答弁** 平和の大切さに関心を持ってもらえる取り組みとして「愛知・名古屋戦争に関する資料館」にて市内の戦争の爪跡を巡るウォーキングイベントや戦争体験者からの話を聞く会を開催するなど情報発信に努めている。

※代表質問とは…各年度の当初予算が提案される2月定例会、市長選挙後初の定例会等において、市長の市政運営方針や市政全般に対し、会派を代表して行う質問

私たちが  
減税日本ナゴヤの  
メンバーです



少子化対策委員長 永井ゆり(緑区)    新型コロナウイルス感染症等危機対策委員長 中川あつし(中川区)  
 政審会長 大谷ともひろ(緑区)    広報委員長 大田とみひこ(西区)  
 幹事 田山宏之(北区)    幹事 佐藤ゆうこ(東区)    幹事長 沢田ひとみ(港区)    団長 豊田かおる(中区)    副団長 大村光子(昭和区)    財務委員長 鈴木孝之(天白区)

# 11・2月定例会 議案外質問

田山 宏之 北区



## 〈11月〉 子どもを受動喫煙から守るために

**質問** 受動喫煙は胎児や子どもの発育等に悪影響を及ぼすリスクが高い。「名古屋子ども受動喫煙から守る条例」にのっとり、東京都港区等が行っている禁煙外来治療費助成事業・禁煙支援薬局事業を、まずは妊婦や子どものいる家庭の喫煙者を対象として行う考えは。

**答弁** 市長：千葉市では補助金に加え、カウンセリング等により丁寧に対応している。治療費助成を直ちに始められるよう指示する。



佐藤 ゆうこ 東区



## 〈2月〉 市立小中学校におけるPTA会費からの寄附について

**質問** 学校に対する物品の寄附は、PTAが自発的にしてきたとされているが、公費で購入できるものについてはPTAからの寄附で賄うことがないよう、学校や保護者に対し、公費と私費の負担区分や例示・注意点を示した「ガイドライン」を作成するべきではないか。

**答弁** 教育委員会：具体的な公費での執行事例といった基準を、市公式ウェブサイトやPTAの冊子に掲載していくなど、PTA会員の皆さまに示していく。



大田 とみひこ 西区



## 〈11月〉 徳川慶勝公撮影の名古屋城の写真を活用した取り組み

**質問** 14代尾張藩主・慶勝公の撮影した未公開写真群を名古屋城内で一般公開し、歴史的価値の再確認をのぞむ。

**答弁** 市長：現在は失われてしまった建物や遺構、名古屋城当主しか立ち入ることのできない内部の写真が残されており大変貴重な歴史的資料だ。ぜひ一般公開を進めたい。まずは所蔵者と相談の上、名古屋城の往時の姿を市民の皆さまが知る機会となる写真資料の展示を考えたい。



## 〈2月〉 新型コロナウイルスの長期的な副反応相談窓口について

**質問** 令和6年度からはコロナワクチンは季節性インフルエンザと同様の定期的・限定的な体制となる。このような状況で接種した方に万が一副作用が出た場合、副反応相談窓口での対応に変更などがあるのか。

**答弁** 健康福祉局：令和6年度以降も副反応相談窓口は開設しており、必要に応じて名古屋医師会協力のもと医療機関を案内していく。



大谷 ともひろ 緑区



## 〈11月〉 本市におけるキャリア教育の推進について

**質問** キャリア教育のカリキュラム編成や運用能力・指導力向上のための教員の研修の拡充が必要と考えるが。

**答弁** 教育委員会：令和6年度より新たな研修にも取り組み、教員の資質向上に努めてまいります。また令和5年度には常勤専門職であるキャリアナビゲーターを中・高・特別支援学校90校に配置しており、教職員と共に児童生徒のキャリア形成を支援し、キャリア教育の推進に大きく貢献している。



## 〈2月〉 貧困支援対策としての子ども宅食の導入について

**質問** 子ども食堂の活動は現在一定の評価を得ている。生活に困難を抱えているが様々な事情により自ら助けを求めることのできない家庭に向けて、定期的に食品や生活用品を届ける「子ども宅食」の導入を考えてほしい。まず東京都文京区、京都市の取り組みのリサーチを希望する。

**答弁** 子ども青少年局：他都市事例や本市における状況を勘案しながら、関わり方も含めて総合的に検討していきたい。



永井 ゆり 緑区



## 〈11月〉 障がい者と家族が気兼ねなく利用できる公共施設のあり方

**質問** 障がい者とその家族が余暇を楽しむための本市の支援制度や福祉サービスは年々向上している。そのうち市科学館プラネタリウムの字幕付きプログラムの開催は市独自の取り組みであるが、今後のさらなる展開と聴覚障がいだけでなく他の障がいがある方への対応状況、取り組みについてお聞かせいただきたい。

**答弁** 教育委員会：令和6年度にはアンケート調査を実施し、障がいのある方を含む全ての方に楽しんでいただける施設をめざしていく。



## 〈2月〉 地域生活支援拠点事業所の体制充実について

**質問** 障がい者の重度化・高齢化が進む中、親の病気や親亡き後を見守る障がい者が住み慣れた地域で安心して生活するため、地域生活支援拠点事業所のあり方を改善、検討すべき。本市にある豊富な障がい福祉サービス事業所との連携を強化し、体制を一層充実させていくべきではないか。

**答弁** 健康福祉局：地域生活支援拠点事業所の区ごとの利用制限を撤廃し、令和6年度からは市内全域で利用できる見直し。

